

真校だより第115号 令和6年10月号

ふきのとう

令和6年度後期生徒総会～「直往邁進」から「桜梅桃李」へ～



10月11日(金)に令和6年度後期生徒総会が開催されました。新体制で臨む初めての生徒総会でしたが、2年生役員を中心に生徒会運営方針案の検討や議案書の作成等を、みんなで協力しながら計画的に進めることができました。生徒会メインスローガンである「地域を愛し、地域に生きる」を基礎に据えたうえで、令和6年度後期からの生徒会サブスローガンとして「桜梅桃李」を掲げ、これまで先輩たちが築いた伝統を継承しつつ、生徒各自の個性を大切に、それに磨きをかけることで各自を成長させ、地域の方々に喜んでいただけるような真室川校にしていけることを確認しました。様々な挑戦と失敗を繰り返しながら、逞しく成長して欲しいと思います。

マラソン大会～出場者、全員制限時間内完走。達成感に包まれる！～



《上位入賞者》

- 【男子】第1位 2A 佐藤 洸希(43分29秒)
第2位 2A 加藤 太一(47分32秒)
第3位 1A 佐藤 暖斗(47分53秒)
【女子】第1位 3A 荒木英美梨(26分31秒)
第2位 3A 荒川 舞桜(27分35秒)
第3位 3A 五十嵐優衣(29分47秒)

10月16日(水)にマラソン大会が行われ、男子9km・女子5km(制限時間:男子90分・女子50分)を、20名の生徒(怪我等により2名欠場)がそれぞれの自己ベストを目指して走りました。生徒たちは、マラソン大会に向けて約1ヶ月間、体育の授業で長距離走を繰り返し、体力の錬成に努めてきました。当日は生憎の雨模様でしたが、若い生徒たちはひるむことなく力強く走り出しました。なお、この大会には多くの保護者の方々に駆けつけていただき、タイムの計測や記録にご協力いただいたり、ゴール地点で生徒たちに声援を送っていただいたりしました。また、教職員も交通事故防止と不測の事態への対応及び激励のために雨の中、各関門に立ち、生徒たちに精一杯声援を送りました。生徒たちは、それらの声援を受けながら誰一人として手を抜くことなく、自分の弱さと向き合いながら、それを克服し、最後まで真剣に走り続けました。その姿は、生徒一人一人の確かな成長を証明するものであり、今後のさらなる飛躍を期待させるものでした。自分がゴールした後に、雨に濡れながらも大きな声で友達を励ます者や伴走しながら一緒にゴールする者も多数おり、真室川校の生徒たちの絆の深まりも感じられました。この大会で得た達成感が、生徒一人一人の自信につながり、今後の人生の糧になってくれるものと確信しています。お疲れ様でした、そして今後も頑張ろう、真校生！

「地域を愛し、地域に生きる」真校生～様々な活動を展開！～

●「真室川小学校マラソン記録会」への協力



10月2日（水）に真室川小学校、10月10日（木）に真室川北部小学校でそれぞれマラソン記録会が開催され、真室川校から3年生の荒川舞桜さんと荒木英美梨さん、2年生の加藤太一君と佐藤洸希君の4名が伴走者として協力参加させていただきました。

両日とも天候に恵まれ、澄んだ空気に包まれながら、小学生も本校の4名も気持ちよく走ることができました。

高校生顔負けのスピードで走る児童もいて、圧倒される場面もありましたが、4名とも小学生と一緒に走りながら、小学生たちを懸命に励まし後押ししてくれていました。開・閉会式の際にも、児童を前に、笑顔できちんと挨拶できました。日頃の訓練が実を結んだ瞬間でした。

小学校の先生方には、真校生の活躍の場を設けていただいたことに感謝申し上げます。今後も、幼保小中高連携を進め、児童生徒たちの成長を促していただければ幸いです。

●「真室川北部小学校マラソン記録会」への協力



●全校ボランティア②～ゴミ拾いを通して、真室川町の環境美化に寄与することができました～



10月9日（水）に今年度2回目の全校ボランティア（学校周辺のゴミ拾い）を実施しました。たばこの吸い殻や空き缶、ペットボトル等、今回もたくさんのゴミを回収することができました。縦割り班での協働、全校生を前にしてのスピーチ等、社会性を身につけるための訓練の一環として、今後も活動を継続していきます。



学校HP
ご覧ください

●第31回町民芸術祭への参加



10月5日（土）～6日（日）に開催された真室川町町民芸術祭の舞台発表部門に吹奏楽部が出演させていただきました。作品展示部門に美術・書道選択者の作品を展示させていただきました。生徒の日頃の活動の成果を発表する機会を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。